

浮世絵は、幕末からがおもしろい。

令和5年度春季特別企画展

会期 令和5年(2023)

幕末明治の浮世絵百年 4.6(木) ▶ 6.18(日)

【前期】4.6(木) - 5.7(日) 【後期】5.11(木) - 6.18(日)

※4.29(土)~5.5(金)は休まず開館

※前後期全点入れ替え

大江戸の賑わい



図版(左上から時計回りに): 歌川国芳「山海目出たい図会 くせが直したい」/月岡芳年「風俗三十二相 遊歩が七たさう」/楊州周延「欧州管絃楽合奏之図」/小林清親「海運橋 第一銀行雪中」/作者不詳「北アメリカ副將使節真像」/作者不詳「無題(黒船図)」/三代歌川豊国「盗賊大蛇丸 嵐吉三郎」/歌川国芳「羅武八景 五條秋月」/歌川広重「上野不忍池 雪の景」/葛飾北斎「諸国名橋奇覧 すほうの国さんたいはし」 すべて中右コレクション

大江戸の賑わい

幕末明治の浮世絵百年

令和5年度春季特別企画展

会期 令和5年(2023) **4.6(木) ▶ 6.18(日)**

【前期】4.6(木) - 5.7(日) 【後期】5.11(木) - 6.18(日)
 ※4.29(土) ~ 5.5(金)は休まず開館 ※前後期全点入れ替え

観覧料 大人820円(20名以上の団体は660円)
 ▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
 ＊リピーター割引有 - 本展会期中に限り、同展半券の提示で2回目以降は660円で観覧できます。

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 月曜日(5.1(月)を除く)、5.8(月)～10(水)は展示替えのため休館。
 ★4.29(土)～5.5(金)は休まず開館いたします。

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館
 監修 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事) 企画協力 E.M.I.ネットワーク

【関連イベント】※無料(ただし、観覧料が必要です)
 ■学芸員による作品ガイド
 日時:【前期】4.16(日) 【後期】5.21(日) 各日午前10時30分～40分程度(予定)
 場所:展示室1、2(1、2F)

浮世絵は、幕末からが面白い。

時代はいよいよ幕末から明治へ



黒船来航により、庶民の関心が異国へと向けられます。浮世絵は、文明開化によって急速に変貌する都市の様子を、大衆メディアとして広く伝えました。

- J. 月岡芳年「風俗三十二相 遊歩がしたさう」
 - K. 小林清親「海運橋 第一銀行雪中」
 - L. 作者不明「無題(黒船図)」
 - M. 作者不明「北アメリカ副将使節真像」
 - N. 楊洲周延「秋園菊花の盛」
- 〈その他の出品予定作品〉
 O. 昇亭北寿「甲斐国猿橋ノ真写之図」 P. 歌川国芳「浅倉当吾亡霊」
 Q. 歌川国貞「当世美女吾妻風景 浅草寺の年の市」
 R. 小林清親「日本橋夜」



Museum Shop News ミュージアムショップから 関連グッズ期間限定販売!

ミュージアムショップでは春季特別企画展「幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい」に合わせ、公式図録をはじめ、出品作品(予定)をあしらった記念グッズを販売いたします。絵葉書、クリアファイル、マグネット、缶バッジなど、本展限定のグッズもあります。この機会にぜひお求めください。(価格は変更となる場合があります)

- ▲大判絵葉書各種 280円
 - ▼その他絵葉書各種 165円
 - ▲クリアファイル各種 500円
 - ▲マグネット各種 720円
 - ▲缶バッジ各種 330円
- 図録『幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい』 2,000円 ※価格はすべて税込

四季の装いと化粧



浮世絵における女性美の表現は、時代の流行と共に変化しました。幕末には、動乱期の世相を反映した強かで婀娜(あだ)っぽい、粋な女性像が人気となりました。

- D. 歌川国貞「浮世人精天眼鏡」
- E. 歌川国芳「山海目出たい図会 くせが直したい」
- F. 三代歌川豊国「東都両国橋川開繁栄図」

江戸っ子の娯楽



幕末を代表する娯楽といえば、芝居見物に大相撲観戦。人気の歌舞伎役者や力士の姿は、浮世絵にも盛んに取り上げられました。また、絵師の遊び心満載の戯画は、江戸っ子たちの目を大いに楽しませました。

- G. 歌川国貞「河津三郎祐安 海老名源八弘綱 俣野五郎景久」
- H. 三代歌川豊国「盗賊大蛇丸 嵐吉三郎」
- I. 歌川芳藤「八月八日木性の人有卦に入る」

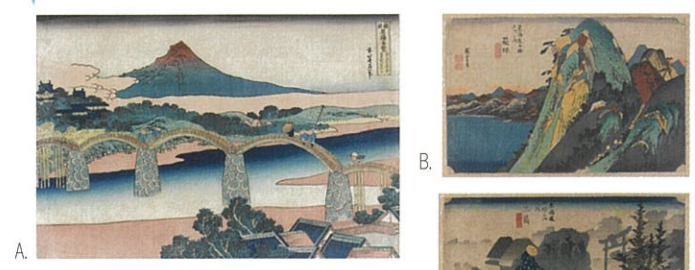
庶民文化が繁栄した江戸時代末期から、文明開化で華やく明治時代前期まで約100年。テレビやインターネットのない時代に大量生産された浮世絵は、庶民に愛される大衆芸術であると同時に、最新の流行や時事を伝える大衆メディアとして、激動の世相を映し出しました。

慌ただしい日々を過ごす江戸庶民の息抜きとなった、娯楽の発展に一役買ったのも浮世絵です。葛飾北斎(1760-1849)や歌川広重(1797-1858)の風景画に描かれた行楽地や名所、宿場町は、庶民の旅情をかき立てました。一方、巧みな人物描写で名をはせたのは、歌川国貞(後の三代豊国、1786-1865)と歌川国芳(1798-1861)。国貞は役者絵、国芳は武者絵で好評を博し、相撲絵や美人画なども手掛けました。江戸っ子たちは、絵師の洒落っ気が込められた戯画に笑いながら浮世を謳歌します。

開国で異文化が流入すると、浮世絵の画中には鉄道や馬車、人力車が行き交い、洋装の人々が闊歩します。幕末から活躍する月岡芳年(1839-92)は、武者絵や美人画から開化絵まで幅広いジャンルで筆をふるいました。明治から画業を開始した小林清親(1847-1915)は、西洋の風景表現を取り入れた光線画で評判となります。美人画を得意とする楊洲周延(1838-1912)は、欧化政策の象徴となった鹿鳴館のきらびやかな世界を描き出しました。

時代の変化に伴い、新しもの好きな庶民の関心事は瞬きする間もなく移り変わりました。時流に敏感な版元の発想、表現力豊かな絵師の筆遣い、彫師や摺師の卓越した技巧によって生み出された名品は、力強く躍動する大江戸の活況を今に伝えてくれます。絵師もジャンルもバラエティ豊かににぎわう幕末明治の浮世絵をお楽しみください。

旅がた人模様



幕末の旅ブームに伴い、役者絵や美人画と並ぶ一大ジャンルとして、風景画が登場。道行く旅人の姿と共に描き出される四季折々の名所や街道の情景は、江戸庶民たちを臥遊の旅へと誘いました。

- A. 葛飾北斎「諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし」
- B. 歌川広重「東海道五拾三次之内 箱根(保永堂版)」
- C. 歌川広重「東海道五拾三次之内 三島(保永堂版)」

令和5年度連続講座受講生募集

「江戸庶民の遊びと愉しみ」

太平の世が訪れ、多種多様な文化が開花した江戸時代。歌舞伎、相撲、見世物などの大規模な興行や、狂歌、盆栽、愛猫といったグループまたは個人での楽しみは、庶民の日常生活に彩りを添えました。これらは浮世絵出版と密接に関わり、現代の大衆文化にも継承されています。令和5年度は、浮世絵鑑賞の素地となる江戸文化への理解を深めるべく、江戸庶民の趣味や娯楽を取り上げます。

〈講座日程・内容〉

春季講座	〈第1回〉 令和5年(2023) 4.8(土) 「役者絵から知る歌舞伎の魅力」 倉橋 正恵 氏(立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員)
	〈第2回〉 5.13(土) 「浮世絵にみる江戸の庶民文化と相撲」 大久保 範子 氏(岡山大学社会文化科学学域准教授)
	〈第3回〉 6.10(土) 「誰もが楽しんだ最大のポピュラー娯楽、見世物」 川添 裕 氏(横浜国立大学名誉教授)
秋季講座	〈第4回〉 10.7(土) 「江戸から地方へ、狂歌の大流行」 小林 ふみ子 氏(法政大学文学部教授)
	〈第5回〉 11.11(土) 「浮世絵で楽しむ江戸の盆栽文化」 田口 文哉 氏(さいたま市大宮盆栽美術館学芸員)
	〈第6回〉 12.9(土) 「江戸文化にみる猫と人」 津田 卓子 氏(名古屋博物館学芸員)

※日程・内容等を変更する場合がございます。

- 場所: 中山道広重美術館講座室(3F)
- 時間: 各回 午後1時30分～3時30分(質疑応答を含む)(予定)
- 受講料: 4,000円(全6回)
 ※受講料のお支払いと同時に中山道広重美術館友の会会員となります。会員には当館展覧会を無料で何度でもご覧いただけるなどの特典がございます。受講料はお申し込み時に受付で申し受けます。
 ▲当日空席が発生した場合のみ、1回500円(観覧料別)で単独受講できます。予約不可。

● 申し込み方法: 美術館に備え付けの申し込み用紙に必要事項をご記入の上、直接お申し込みください。電話や、ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。
 TEL (0573) 20-0522 FAX (0573) 25-0322

● 受け付け期間: 令和5年3.7(火)から受け付け。時間は開館日の午前9時30分～午後4時30分まで。定員(50名)になり次第締め切り。



● 令和5年度友の会会員を募集します

美術館友の会で心豊かな一年を！

中山道広重美術館では、友の会会員を募集しています。美術館をもっと楽しんでいただくための各種特典が満載。美術と共に心豊かな暮らしを楽しんでみませんか。

● 会員の種別と特典

〈一般会員〉

- ・中山道広重美術館が主催する企画展と特別企画展を、1年間いつでも無料で鑑賞いただけます。
- ・友の会会員のご同伴者2名まで、割引料金でご鑑賞いただけます。
- ・ミュージアムニュースや展覧会広報物など、美術館に関する情報をお送りいたします。
- ・一部を除き、ミュージアムショップの商品が5%割引になります。
- ・友の会美術研修旅行にご参加いただけます。
※美術館で一部費用を負担いたします。
- ・連続講座などの先行予約のご案内をいたします。
- ・誕生日にささやかですがお祝いの気持ちをお贈りいたします。
- ・会員お一人につき招待券10枚を進呈いたします。

〈賛助会員〉

一般会員の特典に加えて

- ・中山道広重美術館が主催する企画展と特別企画展を、会員名義にかかわらず会員証ご持参の方とご同伴者2名の、計3名様まで無料で鑑賞いただけます。
- ・当館で新しく図録を制作した際には、1冊進呈いたします。

● 年会費

会員種別	区分	年会費
〈一般会員〉	一般	3,000円
〈学生会員〉	学生	2,000円
〈賛助会員〉	個人・法人・団体(一口)	8,000円

● お申し込み方法

美術館に備え付けの申し込み用紙に記入後、美術館受付で会費を添えてお申し込みください(学生の方は学生証をご提示ください)。お電話での仮申し込みも受け付けます。

● その他

会員資格は毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間です。当館連続講座受講生は受講料のお支払いと同時に友の会会員となります。

※中途脱会される場合、会費の払い戻しはありません。

※ご入館の際は必ず受付に会員証をご提示ください。



◀過去の研修旅行の様子
「北斎館」と「水野美術館」
(長野県)を訪問

● 美術館ボランティアを募集しています

美術館ボランティアを始めてみませんか。

中山道広重美術館では、年間を通じてさまざまな形で館の活動にご協力いただけるボランティアスタッフを随時募集しています。活動をしていただくと、展示解説の事前講習、ボランティア研修会などに参加する機会ができ、仲間の輪が広がります。

● 活動内容

- ・浮世絵ナビルームの案内、体験コーナーの補助や説明
 - ・来館者への館内説明・展示解説、広報物の発送作業
 - ・展覧会会場設営の補助、展示室での監視
- ※交通費・昼食費などの金銭的な報酬はありません。

● 活動条件

- ・おおむね週1日以上活動できる方
 - ・活動を始める前にボランティア養成講座を受講できる方。
- ※養成講座は随時開講します。詳しくはお問い合わせください。
▲その他、館周辺の美化活動、生け花など、さまざまな形で活動されている方もいらっしゃいます。

● お申し込み方法

ボランティア活動に興味をお持ちの方は、直接ご来館いただくか、お電話または当館ウェブサイトのお問い合わせフォームでお気軽にお問い合わせください。

● 第19回広重賞恵那市こども版画コンクール作品展

広重賞に佐々木 蓮さん、市長賞に吉村 美鈴さん、市議会議長賞に伊藤 優真さんらが受賞！

第19回恵那市こども版画コンクールには市内33のこども園・保育園・小中学校・特別支援学校から2,443点の応募があり、このうち172点が入賞・入選しました。主な入賞作品は、広重賞に佐々木蓮さん作「秋の気になる場所」(岩邑中1年)、市長賞に吉村美鈴さん作「かんから屋」(岩邑中2年)、市議会議長賞に伊藤優真さん作「たたかい続ける白龍～上矢作龍伝説～」(上矢作小3年)などです。受賞された皆さん、おめでとうございます。作品展は当館展示室2(2F)で3月12日(日)まで開催されます。



左：【広重賞】
「秋の気になる場所」
佐々木蓮さん(岩邑中1年)
右上：【市長賞】
「かんから屋」
吉村美鈴さん(岩邑中2年)
右下：【市議会議長賞】
「たたかい続ける白龍～上矢作龍伝説～」
伊藤優真さん(上矢作小3年)

■ 令和5年度中山道広重美術館フリーウェンズデー・フリーフライデー スポンサー企業のご紹介

令和5年度(2023)は以下のスポンサー企業のご協賛により、開館日の毎週水曜日、毎週金曜日はどなたも展覧会を無料でご覧いただけます。

協賛企業	FREE WEDNESDAY	毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー (スポンサー) (株) エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株) デジタ		
	FREE FRIDAY	毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー (スポンサー) (株) 銀の森コーポレーション、楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株) サラダコスモ ちこり村		



中山道広重美術館

〒509-7201
岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
・JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分
・中央自動車道恵那インターから約5分
ウェブミュージアムショップ↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>

美術館ホームページ



ウェブミュージアムショップ

